

第 10 期 決算公告（令和 6 年 3 月期）

令和 6 年 7 月 8 日掲載

東京都渋谷区恵比寿1丁目18番14号

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

代表取締役 金田 創

【貸借対照表】 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 48,478,418 】	【流動負債】	【 48,141,679 】
現金及び預金	3,528,541	短期借入金	300,000
立替金	3,674	関係会社短期借入金	1,126,260
前払費用	628	匿名組合預り金	45,849,764
未収収益	51,716	預り金	46,255
関係会社未収収益	218,956	仮受金	85,843
関係会社未収入金	387,451	関係会社未払金	633,659
匿名組合貸付金	42,936,060	未払費用	2,975
短期貸付金	215,000	関係会社未払費用	72,260
関係会社短期貸付金	1,151,505	未払法人税等	24,660
その他	87	負債の部合計	48,141,679
貸倒引当金	△ 15,204	純資産の部	
【固定資産】	【 8,714 】	科 目	金 額
(有形固定資産)	(2,269)	【株主資本】	【 345,453 】
建物附属設備	18,920	【資本金】	【 40,000 】
工具、器具及び備品	4,568	【資本剰余金】	【 21,000 】
減価償却累計額	△ 21,219	(資本準備金)	(21,000)
(投資その他の資産)	(6,445)	【利益剰余金】	【 284,453 】
敷金	1,800	(その他利益剰余金)	(284,453)
繰延税金資産	4,635	繰越利益剰余金	284,453
その他	10	純資産の部合計	345,453
資産の部合計	48,487,133	負債・純資産の部合計	48,487,133

個別注記表

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

(重要な会計方針)

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

減価償却の方法、及び、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備	： 定額法	5 年
工具、器具及び備品	： 定率法	4 年

2 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

3 収益及び費用の計上基準

当社が帰属するクラウドバンクグループでは、主力事業として、主にインターネットを通じて投資家より小口の資金を募集し、資金需要を有する企業等へ融資を行い、これによって生じた利息等を投資家に分配する融資型クラウドファンディング事業を行っています。

当事業において、当社が営業者として、顧客との間で匿名組合契約を締結し、顧客から出資を受けた金銭を貸付債権に投資することにより運用しています。本業務の遂行に対する報酬として受領する、営業者報酬、及び、債務者から直接受領する、貸付債権に関しての融資事務手数料が主な収益となっています。

営業者報酬、融資事務手数料においては、顧客との契約内容に応じた受託業務を提供することが履行義務であり、業務が実際された時点で当社の履行義務が充足されることから、当該時点で収益を認識しています。

4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

(2) グループ通算制度の適用

当事業年度よりグループ通算制度を適用しています。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権・債務

未収入金	387,451 千円
未収収益	218,956 千円
短期貸付金	1,151,505 千円
未払金	633,659 千円
未払費用	72,260 千円
短期借入金	1,126,260 千円

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生主な原因は、減価償却限度超過額の否認、未払事業税等であり、4,635 千円の繰延税金資産を計上しています。

(一株当たり情報に関する注記)

1 株当たり純資産額	5,663,179 円 39 銭
1 株当たり当期純損失	155,117 円 24 銭

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(当期純損益金額)

当期純損失	9,462 千円
-------	----------